

ル リ シ ジ ミ

Celastrina argiolus

種名



分類	シジミチョウ科												
形態	前翅長 12～19mm。裏面は灰白色、小黑点が散布する。翅表は が明るい青紫色、 は外縁の黒褐色帯が幅広い。低温期のもの(春型)は基半部が青紫色、高温期(夏型)は青白色になる。近似種とよく似ているので同定には注意が必要。地域的、時期的な違いを考慮すること。サツマシジミ、ヤクシマルリシジミと混同されやすく、本種は後翅裏面の黒斑が逆八の字型になる。												
分布	北海道(利尻島・礼文島・奥尻島を含む)、本州、四国、九州(壱岐・対馬を含む)、南西諸島(トカラ列島まで)。奄美大島でも記録はあるが、迷蝶と考えられる。												
出現期	州中部の暖地では、3月から 11 月にかけて、年 3～4 回の発生。寒冷地では、年 2～3 回になる。蛹越冬する。												
生態	おもに雑木林の周辺、草地に棲む。都市周辺でも見られる。早春から林間をちらちらと飛び、フジ、ウツギなどで吸蜜する。 は地上で吸水することも多い。 は食樹のまわりをゆるやかに飛び、その花や蕾などに卵を産む。												
食樹	多くの種類が記録されている。時間や地域によって異なる。主なものは、マメ科、タデ科、バラ科、ミカン科、ブナ科、ヒルガオ科、ヤナギ科、ミズキ科、ウコギ科など。おもに花、蕾、実を食べる。												
幼虫 (幼生期)	体長 13mm。色彩は食樹(草)の花の色によって変化する。緑色のものや、紅色をおびるもの、乳白色まで変異がある。アリがまとわりついていることがある。												
出現時期	(月)	-	-	3	4	5	6	7	8	9	10	11	-
その他													
参考文献：検索入門 渡辺康之著 チョウ													